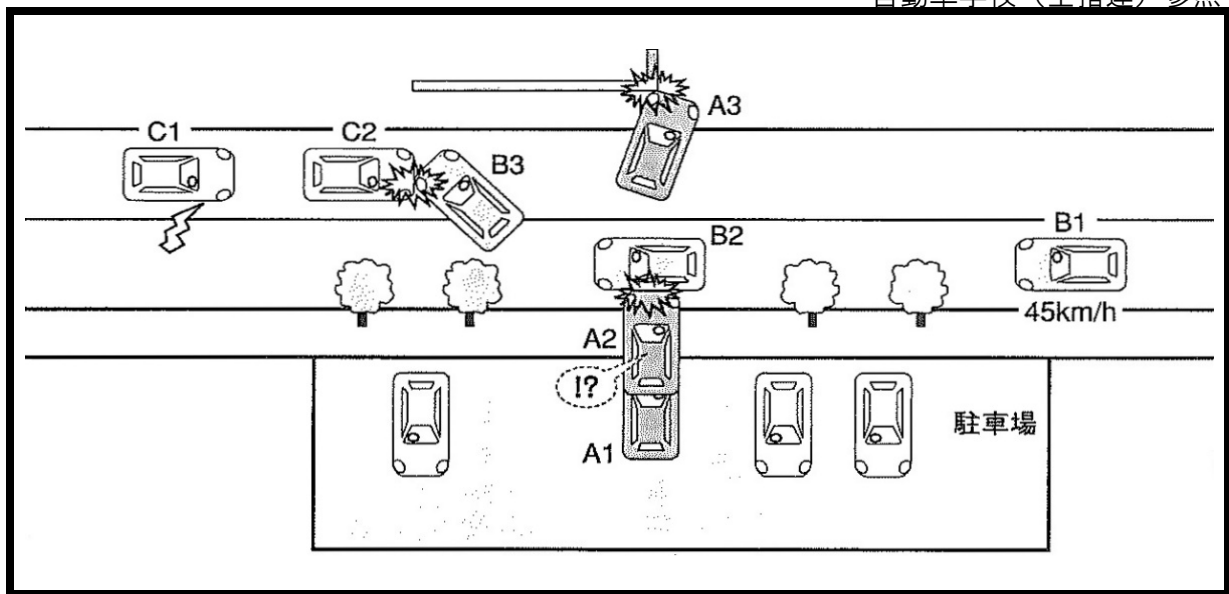


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：出会い頭

発生日時：1月 午後4時30分頃 曇り

当事者A：普通乗用車 70歳代 男性

当事者B：軽乗用車 50歳代 男性

■ 事故の概要

Aはお店での買い物を終え、駐車場に停めておいた車にサンダル履きで乗り込み、エンジンをかけて、歩くよりも遅い速度で駐車場の出口に向かいました。道路には左折で出るつもりで、左右の安全を確認するため、一時停止しようとブレーキペダルを踏みましたが、ブレーキペダルから足が滑り、アクセルペダルを踏み込んでしまいました。このため加速して道路に進入し、右方から走行してきたB車の側面に勢いよく衝突してしまいました。衝突後は気が動転し、脚も硬直したようになり、ブレーキを踏みなおすことも出来ず、道路向かい側のブロック塀に衝突して停止しました。

B車は、A車に衝突された衝撃で対向車線に飛び出し、対向進行してきたC車に衝突し、さらに横転して停止しました。

■ 事故から学ぶ

Aは、乗車する前に水たまりの上を歩いたため、サンダルの底が濡れて滑りやすくなっていたことも事故につながった一因と考えられます。

車を運転する時は、靴底に水や油が不用意に付かないように用心することも大切です。特に雨の日などは滑りやすいのでペダルの端を踏まないように慎重に操作しましょう。

なお、サンダル、下駄、草履などの運転しにくい履物での車の運転は、各県の条例により原則禁止されており、注意が必要です。